

授業科目 臨床栄養管理演習

【担当教員名】 永井 徹		対象学年	4	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 チーム医療における他職種間との連携・協働の必要性を理解する。各疾患における病態、病状による栄養評価および栄養管理を学び、栄養ケアプランの立案方法を修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 栄養サポートチーム（NST）における栄養評価、栄養管理プログラムが作成できるスキルを身につける。 2. 各疾患における必要栄養素の決定と補給法が説明ができる。 3. チーム医療の中で活躍できる専門分野での高度な技能・能力を修得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	チーム医療における他部門との連携に必要な栄養評価と栄養管理			1	講義とカンファレンス
2	各疾患における栄養量の決定に必要なモニターの評価および臨床効果（clinical outcome）			2	講義とカンファレンス
3	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（内分泌代謝疾患 1）			1～3	症例提示によるカンファレンス
4	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（内分泌代謝疾患 2）			1～3	症例提示によるカンファレンス
5	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（循環器疾患 1）			1～3	症例提示によるカンファレンス
6	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（循環器疾患 2）			1～3	症例提示によるカンファレンス
7	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（腎臓疾患 1）			1～3	症例提示によるカンファレンス
8	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（腎臓疾患 2）			1～3	症例提示によるカンファレンス
9	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（消化器疾患 1）			1～3	症例提示によるカンファレンス
10	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（消化器疾患 2）			1～3	症例提示によるカンファレンス
11	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（がん 1）			1～3	症例提示によるカンファレンス
12	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（がん 2）			1～3	症例提示によるカンファレンス
13	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（小児疾患）			1～3	症例提示によるカンファレンス
14	症例における栄養ケアプラン立案、発表および討議（高齢者疾患）			1～3	症例提示によるカンファレンス
15	まとめ			1～3	講義とカンファレンス
【使用図書】		＜書名＞		＜著者名＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）					
参考書		改訂第 4 版 NST ガイドブック 2014	日本病態栄養学会編	メディカルレビュー社	2014・3,500 円＋税
		静脈経腸栄養ガイドライン	日本静脈経腸栄養学会編	照林社	2013・4,000 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、レポートによる評価			【履修上の留意点】		